

地方創生の推進（「みえモデル」の着実な実行）を要望

【令和3年度 政策・予算への要望活動】

～ 三重県議会「新政みえ」との団体懇談会 ～ 三重県商工会議所連合会

三重県商工会議所連合会は、令和2年9月10日（木）、三重県議会「新政みえ」へ令和3年度の政策・予算要望に関する団体懇談会を開催しました。

「新政みえ」からは中村進一副代表を含め4名が、当連合会からは吉仲専務理事・須藤専務理事（県連常務理事）・葛西専務理事3名が参加しました。

はじめに吉仲県連専務理事が要望概要を説明した後、須藤専務理事、葛西専務理事から要望について発言し、その後、意見交換を行いました。



▲ 吉仲専務理事から要望書を受け取る中村副代表（右から4番目）と新政みえの議員
左から葛西専務・須藤専務・吉仲専務・中村副代表・田中議員・平畑議員・喜田議員

◆要望概要

令和3年度の政策・予算に関する要望 ～地方創生の推進（「みえモデル」の着実な実行）～ 三重県商工会議所連合会

I. 県民の命を守り抜く感染拡大の防止 1. 医療機関の安定的な運営の確保	III. 地域経済の再生と進化 1. 資金対策、共済制度 ①金融制度の充実 ②国の共済（セーフティ共済）の柔軟な運用 2. 販路開拓、商品・サービス開発、設備投資に対する支援 ①三重県経営向上支援新型コロナ危機対応補助金の継続実施 ②三重県販路経営向上計画推進のための支援策の充実 ③中小企業生産性革命推進事業にかかる補助制度の継続・拡充 3. 小規模事業者の挑戦へ支援 ①専門家派遣事業の拡充 4. 「新たな生活様式」に加え「命」と「経済」の両立をめざす「みえモデル」をふまえた取組への支援 ①新たな補助制度創設 ②地域一体となったコロナ対応推進 ③IT、IoT、ロボット、AI、5G等の環境整備 5. デジタル活用によるビジネス変革、キャッシュレス決済の推進 ①オンライン販売、商談会 ②キャッシュレス決済の推進 6. サプライチェーンの改革推進 7. 観光産業の振興 ①安全安心の徹底（見える化推進） ②プレミアム旅行券および教育旅行支援等の充実 ③AI化の推進 ④コロナ収束を見越した地域一丸となったキャンペーンの展開 ⑤観光に資する無料イベントへの支援 ⑥産業観光ルートの創設等 8. 中小企業・小規模企業のBCP策定支援及びM-EMSについて 9. 行政手続きのデジタル化推進等
II. 雇用の維持と新しい働き方の推進 1. 事業者の雇用の維持・確保への支援 ①雇用調整助成金をはじめとした雇用対策の活用推進 ②オンラインによる就職説明会の実施 2. 企業におけるリモートワーク導入推進 経営者の意識改革、人材育成、機器等の環境整備	地方創生に係る地域要望（各商工会議所） 桑名・四日市・鈴鹿・亀山・津・松阪・伊勢・鳥羽・上野・名張・尾鷲・熊野 恒久的な財源の確保 「みえモデル」の着実な実行と地方創生の推進を図るためには、単年度だけでなく一定年度の安定した財源の確保が必要 あらゆる機会を通じて国等へ働きかけを行い、「地方創生臨時交付金」等の財源確保を図らねばならない
IV. 安全・安心な暮らしの再構築 1. 地域の生活や活動に必要な公共交通機関の維持 2. 国土強靱と地域の成長を支える社会基盤の整備 ①大規模自然災害に備えた基盤整備の推進 ②リニア中央新幹線の早期完成 3. 首都圏一極集中からの解消 （三重県への移住・移転の推進）	
V. 商工会議所の支援体制の強化 1. 経営指導員の増員による小規模事業者への支援の強化 2. 経営支援の機能の維持・強化のための人員増員及び人件費の増額 3. 新型コロナウイルス感染症の対応に関する会議所事務負担増への支援 4. 各種支援制度に関する情報共有及び提供のあり方 5. 人件費補助について 6. 経営改善普及事業について 7. 事務局長設置基準の緩和について 8. 指導員研修（瀬戸校）について	